

桜井市議会だより



題字 桜井高校書芸コース3年 石田 もも果 さん
写真 「あたらしい光」 桜井高校写真部2年 小野 碧月 さん

臨時会・定例会報告	4
11月臨時会	5
12月定例会	5～9

11月臨時会・12月定例会報告

新型コロナウイルス感染症対策予算を可決

（子育て世帯へ10万円一括給付）

令和3年11月臨時会

令和3年11月臨時会は、11月15日㊿に開かれ、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業を活用した飲食関連事業者等の支援や感染拡大防止のための消耗品（検温器、CO₂センサー等）の購入に関する補正予算について審議を行いました。

- ◇報告案件・・・4件
- ◇令和3年度補正予算・・・1件

に関する議案等を中心に審議を行いました。また、子育て世帯に対して、18歳以下の子ども一人あたり10万円相当（一定の所得を超える場合を除く）の給付に關し、現金10万円一括給付を行うための補正予算について審議を行いました。

- ◇報告案件・・・1件
- ◇令和3年度補正予算・・・5件
- ◇条例の一部改正・・・2件
- ◇工事請負契約の締結・・・1件
- ◇規約の変更・・・1件
- ◇損害賠償の額を定めること（議員発議）・・・1件
- ◇意見書・・・1件

令和3年12月定例会

令和3年12月定例会は、12月1日㊿～20日㊿までの20日間の会期で開かれ、新型コロナウイルスの3回目接種に関する補正予算、新庁舎の外構や地域交流広場の整備工事請負契約の締結

11月臨時会、12月定例会 議案議決結果

11月臨時会

議案番号 (付託委員会)	件名	概要	議決結果
報第23号	専決処分の報告、承認を求めることについて（損害賠償の額を定めることについて）	損害賠償額 4万5,342円 市内で発生した道路管理瑕疵による車両の破損について損害賠償額を定める。	承認
報第24号	専決処分の報告、承認を求めることについて（損害賠償の額を定めることについて）	損害賠償額 26万7,472円 桜井市グリーンパーク内で発生した人身事故について損害賠償額を定める。	承認
報第25号	専決処分の報告、承認を求めることについて（損害賠償の額を定めることについて）	損害賠償額 10万54円 市内で発生した車両による物損事故について損害賠償額を定める。	承認
報第26号	専決処分の報告、承認を求めることについて（令和3年度桜井市一般会計補正予算（第8号））	補正額 2,406万5,000円 奈良県の「ワクチン接種で安心飲食キャンペーン」及び「いまなら。キャンペーン2021」事業との連携を図り市内でのクーポン等の利用率の向上を図るための事業	承認
議案第66号	令和3年度桜井市一般会計補正予算（第9号）	補正額 3,244万5,000円 幼稚園・小学校・中学校・学童保育所における新型コロナウイルス感染症拡大防止のための消耗品費（CO ₂ センサー）等	可決

12月定例会

議案番号 (付託委員会)	件名	概要	議決結果
報第27号	専決処分の報告、承認を求めることについて（令和3年度桜井市一般会計補正予算（第10号））	補正額 4億406万7,000円 子育て世帯に対して、18歳以下の子ども一人あたり10万円相当（一定の所得を超える場合を除く）のうち5万円を、年内に現金給付をするための所要額	承認
議案第67号 (総務委員会)	令和3年度桜井市一般会計補正予算（第11号）	補正額 6億7,100万7,000円 新型コロナワクチンの3回目接種における体制整備及び実施のための追加所要額 等	可決
議案第68号	令和3年度桜井市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	補正額 9,459万1,000円 一般被保険者医療給付費にかかる追加所要額 等	可決
議案第69号	令和3年度桜井市介護保険特別会計補正予算（第2号）	補正額 200万円 第1号被保険者還付加算金で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた者に対する介護保険料の減免による償還金利子及び割引料にかかる追加所要額	可決
議案第70号	令和3年度桜井市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	補正額 38万7,000円 マイナンバーカードの健康保険証利用の支援にかかる会計年度任用職員報酬 等	可決
議案第71号	桜井市国民健康保険条例の一部改正について	健康保険法施行令の一部改正に伴い、出産育児一時金の支給金額を維持するための所要の改正を行う。	可決

議案番号 (付託委員会)	件名	概要	議決結果
議案第72号	桜井市中和幹線沿道大福地区企業誘致条例の一部改正について	企業誘致計画に位置付けている中和幹線沿道大福地区に引き続き企業誘致を図るため、当該条例の効力を延長するための所要の改正を行う。	可決
議案第73号	工事請負契約の締結について	契約の目的：桜井市新庁舎等外構及び地域交流広場整備工事 契約の方法：一般競争入札（総合評価落札方式） 契約金額：2億3,009万1,400円 契約相手方：井前・堤野・大川特定建設工事共同企業体	可決
議案第74号	奈良広域水質検査センター組合を組織する構成団体数の減少及び規約の変更について	令和4年4月1日から、川西町、三宅町及び田原本町を奈良広域水質検査センター組合から脱退させ、これらの町をもって設置される磯城郡水道企業団を加入させることについて、及び同組合の規約を変更することについて、議会の議決を求めるもの。	可決
議案第75号	損害賠償の額を定めることについて	損害賠償額 2万2,000円 市内で発生した車両の破損にかかる損害賠償額を定める。	可決
議案第76号	令和3年度桜井市一般会計補正予算（第12号）	補正額 4億66万1,000円 子育て世帯に対して、18歳以下の子ども一人あたり10万円相当の給付に関し、国から給付方法の選択肢が示されたことから、現金10万円一括給付を行うための残り5万円分の追加給付及び事務費	可決
発議案第6号	さらなる無電柱化の推進に関する意見書の提出について	提出先：内閣総理大臣、国土交通大臣、財務大臣、衆議院議長、参議院議長	可決

表紙作成にご協力いただいている桜井高校の皆さん

書芸コース

全国的にも数少ない書道を専門的に学べる独自のカリキュラムを1年生から編成。

書の学習を通して、文化と伝統を学び、創造性豊かな感性をはぐくむとともに、何事にも真剣に向き合える人になれることを目標とされています。



写真部

例年、奈良県高文連写真部会主催の写真展に出品したり、昨秋には、部員が県代表の1人に選ばれ、「全国高等学校総合文化祭東京大会」に出品することになりました。地元の方々の活動や豊かな自然を撮影する等、今後も1枚でも多く素敵な写真を撮っていきたくと活動されています。



総務委員会

(付託案件1件)

令和3年度桜井市一般会計補正予算(第11号)(抜粋)

「ふるさと寄附金について」

問 ふるさと寄附金について増加の見込みであるが、今年度はどのような工夫や取組みがなされているのか。

答 返礼品の数は898品目(令和3年12月現在)あり、ふるさと納税ポータルサイトを6サイトまで増やし、活用している。リピーター率を高めることを基本に日々分析を行い、工夫改善している。

「生活保護の申請について」

問 生活保護の申請時に、民生委員が確認をする以外の方法はないのか。

答 民生委員の副申書がなくても申請ができるように、民生委員と協議をして改正しているところである。

「取っ手つきごみ袋について」

問 取っ手つきごみ袋の導入の検討は行ったのか。

答 来年度当初予算での導入を考えて

おり、一定期間は現行のごみ袋と併用し、最終的に移行していきたいと考えている。

「子宮頸がんワクチンについて」

問 子宮頸がんワクチンについて、4月から、国において積極的な勧奨が開始されるようであるが、接種機会を逃した方への対応についてどう取り組んでいくのか。

答 他の自治体に遅れないよう、また、対象となるお子さんが不利益にならないようによく調査しながら進めていきたい。

「森林情報活用システムについて」

問 森林情報活用システムについて、どのような活用をされるのか。

答 航空レーザのデータとともに、今年度策定している桜井市森林経営管理全体計画の内容を反映させ、今後、森林経営にあたり、森林所有者の意向調査や施業等を行っていくために活用する。



▶ 総務委員会の様子



代表質問「新政自民クラブ」

桜井市のインフラ整備について



井戸 良美 議員

問 市内のインフラ整備について、市外や県外の方が魅力を感じ、定住することに満足できるまちなのか、疑問である。維持管理費は年々減額され、地域の要望や市の目標が達成されていないのではないか。人口減少に歯止めをかける意味においても、「住んでみたい・住みたい」と思われるようなまちにするため、インフラ整備をどのように進める予定なのか。

答 道路や河川の整備等については、職員の日常パトロールや自治会、市民からの通報や要望に対し、実現可能な箇所から優先順位をつけ、予算の範囲内で改善を図っている。今年度は卑弥呼の里・ふるさと基金を活用し、道路管理の課題解決に充てている。インフラの効果的な維持管理や修繕、計画的な更新に努め、「日本一住みたいまち桜井」の実現に向け、取組みを進めていきたいと考えている。

【その他の質問項目】●児童及び生徒の学力・体力について



代表質問「桜井黎明の会」

新型コロナワクチン接種の総括について



西 忠吉 議員

問 市がこれまで行ってきた新型コロナワクチンの個別接種、集団接種について円滑に実行できたと考えているのか、総括について聞きたい。3回目の個別接種、集団接種もこれまで同様、他市町村に遅れることのないよう、円滑に行われることを強く要望するが、市長はどのように考えているのか。

答 ワクチン接種業務を専属で行うチームを立ち上げ、市医師会との連携やワクチン接種に関係する人や団体、市民の皆さんの接種へのご理解とご協力があり、様々な情報に惑わされることなく、落ち着いてまた着実に実施できたものと考えている。3回目の接種についてもこれまで同様、他市町村と格差が生じることのないよう、希望する市民への接種を円滑かつ確実に実施していきたいと考えている。

【その他の質問項目】●新型コロナウイルス感染症助け合い基金について



一般質問

**移住・定住対策
について**

東 俊克 議員

問 新型コロナウイルス感染症の拡大により、地方移住への関心度が高まっている。ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据えた移住・定住施策の検討についてどう考えているのか。市の移住支援金交付事業に、交付対象として関係人口に関する要件を追加してはどうか。市の移住・定住PR動画は、5年前に作られたものなので、新しく作成してはどうか。

答 移住・定住に関する情報発信の強化や、空き家バンクの活用に取り組み、空き家等を活用したテレワークの環境整備やサテライトオフィスの誘致も行った。移住支援金については、どのような関係人口に関する要件が望ましいか、検討していきたい。PR動画は、来年11月の新庁舎グランドオープン後に、新庁舎を中心に桜井のまち、各地域のまちづくり、医療・福祉、教育、防災など様々な取り組みを紹介した動画を作成し、移住・定住促進に役立てたいと考えている。



代表質問「公明党」

**地域の活性化と
農業について**

大園 光昭 議員

問 農業者の高齢化、後継者不足、次世代の農業を担う新規就農者の減少等により、農地が活用されず、耕作放棄地が全国で増加する傾向にある。市においても多くの耕作放棄地が確認され、農業の担い手及び農地について、問題を抱えている。意欲ある担い手の育成や新規就農者（企業も含む）の確実な定着を進め、農業の担い手確保を図る必要があるが、その対策はどのように考えているのか。

答 農業従事者の減少は、本市も同様であり、第1次産業人口の減少は、生活基盤の崩壊にもつながりかねない。来年度に新規就農スタートアップ事業を創設し、新規就農者の負担が大きい農機具や農業施設の設置に要する経費の補助を検討している。就農をきっかけに移住定住を可能とする仕組みの構築が必須であると考えている。

【その他の質問項目】●情報格差（デジタルデバイド）について●地球温暖化対策について



一般質問

教育施策について

小西 誠次 議員

問 コロナ禍による厳しい経済状況の中、子育て世代の教育のサポートは重要である。教育バウチャーは、学習塾等の学校外教育の費用をチケット交付によって助成し、確実な教育の機会の提供が期待できる。まほろばセンターでスポーツ教育や武道教育を行い、この制度を使うことにより地域コミュニティは拡大すると考えるが、臨時交付金やふるさと寄附金を活用した教育バウチャーを実現していく考えはないか。

答 準要保護家庭への就学援助として、学習教材等の購入費用の支援や入学準備金の追加支援等を行っている。さらなる支援拡大や教育バウチャーについての情報収集等に努めていきたい。まほろばセンターの今後の教室内容の見直しの際には、武道教室をはじめとするスポーツ教室の開設について委託業者と協議をしていきたい。

【その他の質問項目】●防災対策について●桜井駅周辺の市営駐車場について



一般質問

**DX（デジタルトランス
フォーメーション）推進
への取り組みについて**

岡田 光司 議員

問 窓口業務のワンフロアサービスやAI・RPAを活用したシステムの導入は、市民サービスの向上につながったのかどうか。自治体DXはどのように取り組んでいるのか。また、国は、2022年度末までにほとんどの住民がマイナンバーカードを保有することを目指しているが、当市は可能であるのか。

答 ワンフロアサービスにより来庁者の移動や待ち時間が少なくなり、会議録作成等のシステムの導入においても大きな効果が得られた。申請受付業務のICT化や窓口支援システムの導入は、現在、構築中である。DXについては、令和7年度までのスケジュールを立て、デジタル化を進める。また、マイナンバーカードの普及には、カードを利活用できる行政サービスの拡充と保有を促す動機づけが必要である。プロジェクトチームの設置や、保有の動議づけについての他市事例を参考に、効果的な手法を検討し、普及促進に努めたい。



一般質問

倉橋ため池におけるワカサギ放流事業について



吉田 忠雄 議員

問 倉橋ため池と周辺の地域資源の有効活用として、ワカサギ放流事業について、令和元年12月定例会で質問を行ったが、その後、事業を行うための調査、検討はされているのか。県下最大の倉橋ため池は、現在、遊歩道整備が行われ、訪れた人々にとって憩いの場となっている。ワカサギの放流事業に向けて、予算化を図るべきと考えるがどうか。

答 倉橋ため池の地域資源活用策は大変有意義なものであると考えるが、池の水をすべて抜いて外来種の駆除をする必要があるとともに、棧橋等の設置に膨大な費用がかかることもあり、優先すべき課題も多くあることから事業化ができる状況には至っていない。現在は、都市公園整備も一時休止せざるを得ない状況でもあり、予算的に許せる時期がくるまで猶予いただきたいと考えている。

【その他の質問項目】 ●福祉灯油助成事業の実施について



一般質問

ギガスクール構想について



工藤 将之 議員

問 ギガスクール構想が始まって2学期が過ぎるが、有効に活用できていないように感じる。ICT機器の設置は手段であって目的ではない。あくまで目的は未来に生きる桜井市の子どもたちが、ICTをいかに活用できるかを学ぶことであるとする。他県他市の児童生徒との差を生まないためにも、教育委員会が先頭に立って市内各小中学校に対して目標を示すべきと考えるがどうか。また、教員の負担を減らすためにもICT支援員の増員が必要と考えるがどうか。

答 ICT環境については、学校訪問の際などに確認しており、様々な授業で活用されていると認識している。しかし、全ての教職員や児童生徒が機能を十分に使いこなしているとは言えないことも理解している。今後は具体的な目標を示していきたい。また、ICT支援員の増員等に対する予算付けや必要であるものにはしっかりと対応し、実現していきたい。

補聴器・人工内耳をお使いの方へ

◆ヒアリングループ補聴システムを設置

本会議場の傍聴席では、補聴器・人工内耳を装着している方に音声をはっきり聞こえる装置を設置しています。また、専用受信機とスマホやタブレット等を接続し、専用アプリを使用すると、音声を即時に文字変換することも可能です。(専用受信機を貸し出ししています。事前にご連絡ください。)



◆本会議の録画映像に字幕を掲載

令和3年12月定例会から、本会議の録画映像に字幕を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。※くわしくは、議会のホームページ、または議会事務局（☎42-9132）へお問い合わせください。



一般質問

桜井市における新たな産業の創出について



金山 成樹 議員

問 当市では、長らく木材・皮革・三輪そうめん等の基幹産業が市の経済を牽引し、多くの雇用を生み、好循環をもたらしてきた。デジタル化が急速に進む時代、産業構造の転換の波は確実に来ると考えている。その為に、既存の企業に十分サポートする一方で新産業の芽を育てていく必要がある。市の取組状況と今後の課題をお聞きする。

答 現在、本市の地場産業はかつてほどの活気が失われたと言わざるを得ない。第5次総合計画では、観光・産業創造都市を掲げ、市内に多くある歴史文化遺産や自然資源等を地域活性化の切り札とすべく、時代情勢に応じた観光に取り組んできた。今年度から始まった第6次総合計画においても、新たな時代にふさわしい、新たな価値を加えた観光の取組みを本市における今後の新たな産業の柱にしたいと考えている。

【その他の質問項目】 ●桜井市内の史跡や文化財等の有効活用について